



9月21日は「認知症の日」です

1994年に国際アルツハイマー病協会が世界保健機関（WHO）と共同で「世界アルツハイマーデー」を制定されました。また、令和6年1月1日施行の認知症基本法では、9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」とされました。この日を中心に、世界中で認知症の啓発が実施されています。

多久市では、認知症の日に合わせて、さまざまな啓発を行っています。この機会に、認知症について正しく理解し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域をめざしましょう。

認知症に関するパネル展

認知症の症状や予防のこと、利用できる地域での取り組みについて展示します。

■期間 9月8日(火)から11日(金) ■場所 多久市役所 1階 ロビー

認知症専門相談会

認知症に関するちょっとした心配や疑問について認知症地域支援推進員などがお話を伺います。「最近ものの忘れが増えて不安」「認知症について知りたい」「認知症の人にどう接したらいい？」などの気になることをお気軽にご相談ください。なお、事前申込が優先となりますので、ご希望の場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。1回の相談は30分程度です。

■期間 9月8日(火)から11日(金) 13時30分～16時 ■場所 多久市役所 1階 会議室

このほか、認知症に関連した取り組みとして多久市で行っている事業の一部を紹介します。

【認知症予防】

- ①後期高齢者健診
年1回の無料健診
- ②介護予防教室
運動機能向上や認知機能低下予防を目的としたさまざまな教室

【移動支援】

- ①チョイソコたく
会員登録制予約型乗合バス
- ②運転免許返納者等移動支援（タクシー券）
自主返納または失効から1年以内の人へのタクシー割引制度
- ③おでかけサポート事業
有償ボランティアによる移動支援

【見守り支援】

- ①見守り支援シール
高齢者の安全確保と、介護者などの負担軽減のため、安否情報を共有できるQRコード付きシールを配布
- ②配食サービス
お弁当配達による安否確認

【地域での取り組み】

- ①認知症サポーター養成講座
認知症についての講座を開催し、地域で認知症を支えるサポーターを養成
- ②チームオレンジ
認知症サポーターがチームとなって活動するものです。

問い合わせ・事前予約：高齢・障害者支援課 高齢者支援係（☎0952-75-6033）